

第4章 雲仙市の教育の主要施策

1 教育環境の整備

施策の方針

安全・安心な教育環境を整備します！

学校などの教育関係施設において、子どもたちをはじめ地域住民が、安心して生活し活動できることは保障されるべきものです。そのために、私たちは『安全・安心な教育環境』づくりに全力を傾注しなければなりません。

東日本大震災では、多くの学校で天井材の落下など、非構造部材の被害が発生したことから、建物自体のみならず、天井材や外装材等の非構造部材の耐震化の必要性が、国の施設整備基本方針において明記されました。本市では小・中学校施設の耐震化を平成24年度で完了し、さらに安全性を高めるために非構造部材の耐震化工事を行っています。市内の小・中学校には天井の落下防止対策が必要な体育館等がないことから、外壁の耐震化を優先して取り組んでいます。また、教育関係施設の多くが昭和40年～50年代に建設されているため、経年による老朽化で施設等の機能が低下しており、その対応が必要とされていますが、財政負担の平準化を図るため、緊急に対応を要するものを最優先に取り組みながら、計画的に行うことが求められています。

さらに、新たな時代の要請として、地球温暖化対策や再生可能エネルギー（*47）の導入など、環境を考慮した施設整備が必要となっており、また子どもたちの環境教育の教材としての効果も期待されています。加えて、学校が地域コミュニティの役割も担っていることから、今後、学校の余裕教室等が出た場合は、地域へ開放し自治会活動や地域の学習団体、ボランティア団体等の活動拠点として活用することなどを視野に入れ整備を図る必要があります。

このほか、学校においては、児童生徒に情報技術や情報活用能力を育成することが求められると同時に、ICT環境を学習活動に生かし、児童生徒の学力向上を図りながら特色ある学校づくりを推進するため、ICT機器の計画的な整備が求められています。

『安全・安心な教育環境』は、全ての教育活動の基盤となるものです。そのため、学校施設のみならず、社会教育施設や社会体育施設についても、安全性を高めるために施設を整備したり、安心して学べるための教育環境の充実を図ります。

主要施策 1	小・中学校施設の整備																									
現状	<p>学校施設は児童生徒の学習・生活の場として、豊かな人間性を育むための教育環境として重要な意義を持つとともに、災害時には地域の人々の応急避難場所としての役割を果たしています。本市では平成24年度に学校施設の耐震化は完了していますが、引き続き外壁の改修など防災機能の強化を行っています。</p> <p>また、地球温暖化に対しては扇風機やミストシャワーを設置して、児童生徒の健康維持や快適な学習環境の整備を図っています。</p> <p>さらに、校舎内装の木質化や小学校7校に太陽光発電設備を設置するなど、環境を考慮した施設整備を行い、環境教育に活用しています。</p>																									
今後の課題・方向性	<p>本市の学校施設は昭和40年～50年代に集中して建設されていることから、老朽化が進み改修箇所が年々増大傾向にあります。このため、年次改修計画を策定し、施設の長寿命化を図る必要があります。また、今後は非構造部材（校舎や体育館の外壁等）の耐震化や災害時の避難施設としての機能向上のための施設整備も行う必要があります。</p>																									
今後の主な取組	<p>【快適な学習環境づくり】 老朽化した学校施設の改修や適切な維持・管理・営繕を推進し、快適な学習環境づくりに努めます。</p> <p>【学校の防災機能強化】 非構造部材（校舎や体育館の外壁等）の耐震化や防災機能の強化に取り組み、安全安心な教育環境を整備します。</p>																									
資料等	<p>【市内小中学校の建築年次】</p> <table border="1" data-bbox="339 1355 825 1794"> <thead> <tr> <th>建築年次</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和39年以前</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>昭和40年～45年</td> <td>6校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>昭和46年～50年</td> <td>5校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>昭和51年～55年</td> <td>4校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>昭和56年～60年</td> <td>3校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>昭和60年以降</td> <td>1校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20校</td> <td>7校</td> </tr> </tbody> </table>	建築年次	小学校	中学校	昭和39年以前	1校	1校	昭和40年～45年	6校	1校	昭和46年～50年	5校	1校	昭和51年～55年	4校	3校	昭和56年～60年	3校	1校	昭和60年以降	1校		計	20校	7校	 <p>【大正小学校外壁改修】</p>
建築年次	小学校	中学校																								
昭和39年以前	1校	1校																								
昭和40年～45年	6校	1校																								
昭和46年～50年	5校	1校																								
昭和51年～55年	4校	3校																								
昭和56年～60年	3校	1校																								
昭和60年以降	1校																									
計	20校	7校																								
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で学校施設の定期的な安全点検を実施し、危険箇所の改修等により児童生徒の安全を確保する。 学校施設整備事業計画を作成し、快適に学習できる環境を整備する。 <p>【校舎と体育館の外壁の耐震化率の向上(H26) 26%→(H32) 50%以上】</p>																									

主要施策 2	社会教育施設等の整備																					
現状	<p>公立公民館や文化会館などの社会教育施設と、体育館や運動公園などの社会体育施設は、生涯学習や芸術文化活動、スポーツ活動の拠点として、多くの市民が利用しています。これらの施設を快適に利用できるよう適切な維持管理や改修を行い、利用者の利便性の向上を図っています。</p>																					
今後の方向性 課題・	<p>社会教育施設や体育施設の中には昭和40年～50年代に建設されたものもあり、多くの施設で老朽化が進んでいます。その中で愛野町公民館及び南串山図書室については、雲仙市庁舎整備計画に基づく各総合支所と併せて整備するよう計画しています。その他の施設については、今後も施設の改修や修繕を行うとともに、老朽化対策や設備更新などの整備計画による改善を進めながら、長寿命化を図る必要があります。</p>																					
今後の主な取組	<p>【快適な教育環境づくり】 老朽化した施設の改修や営繕を推進し、快適に生涯学習やスポーツ活動を行える環境づくりに努めます。</p> <p>【安全・安心な環境づくり】 平成27年度に策定した施設整備計画に基づき、計画的な改修を行うとともに、適切な維持・管理を行い、安全・安心な環境づくりに努めます。</p>																					
資料等	<p>【主な社会教育施設】</p> <table border="1" data-bbox="331 1189 847 1408"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>ホール収容人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハマユリックスホール</td> <td>797名</td> </tr> <tr> <td>吾妻町ふるさと会館</td> <td>414名</td> </tr> <tr> <td>国見文化会館</td> <td>404名</td> </tr> </tbody> </table>  <p>【吾妻体育館】</p>	施設名	ホール収容人数	ハマユリックスホール	797名	吾妻町ふるさと会館	414名	国見文化会館	404名	 <p>【ハマユリックスホール】</p> <p>【主な社会体育施設】</p> <table border="1" data-bbox="890 1547 1406 1877"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>施設概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国見総合運動公園</td> <td>グラウンド、テニスコート等</td> </tr> <tr> <td>瑞穂すこやかランド</td> <td>グラウンド、テニスコート等</td> </tr> <tr> <td>吾妻体育館</td> <td>アリーナ、トレーニング室等</td> </tr> <tr> <td>愛野運動公園</td> <td>グラウンド、テニスコート等</td> </tr> <tr> <td>小浜体育館</td> <td>パレーボールコート2面分</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	施設概要	国見総合運動公園	グラウンド、テニスコート等	瑞穂すこやかランド	グラウンド、テニスコート等	吾妻体育館	アリーナ、トレーニング室等	愛野運動公園	グラウンド、テニスコート等	小浜体育館	パレーボールコート2面分
施設名	ホール収容人数																					
ハマユリックスホール	797名																					
吾妻町ふるさと会館	414名																					
国見文化会館	404名																					
施設名	施設概要																					
国見総合運動公園	グラウンド、テニスコート等																					
瑞穂すこやかランド	グラウンド、テニスコート等																					
吾妻体育館	アリーナ、トレーニング室等																					
愛野運動公園	グラウンド、テニスコート等																					
小浜体育館	パレーボールコート2面分																					
達成目標	<p>・施設の適切な維持管理を行うとともに老朽化した施設の改修を行う。 【老朽化した施設改修の実施 愛野町公民館及び図書館[愛野コミュニティセンター（仮称）内]、南串山図書室（仮称）を平成32年度までに整備する。】</p>																					

主要施策 3	情報教育環境の整備																				
現状	<p>本市では、平成19年度に地域イントラネット基盤を整備して以来、学校をはじめ公共施設のネットワーク化とパソコンなどのICT機器整備を進めてきました。</p> <p>平成20・21年度には、それまでは配備が無かった教職員に校務用パソコンを配備し、教職員の業務効率化を図っています。</p> <p>さらに平成26年度から5ヵ年計画で、教育用パソコン、校務支援用パソコンの更新、電子黒板等情報機器の導入を行い、これらのICT機器を活用した児童生徒の情報活用能力の向上や共同的に学習するコミュニケーション能力、表現力の育成や教職員の業務の効率化に取り組んでいます。</p>																				
今後の課題・方向性	<p>コンピュータ及びインターネットの進化と広がりによって代表されるように、情報技術は格段の進歩を遂げ、今日の社会においては欠かせないものになっています。</p> <p>こうした状況に子どもたちが対応していけるよう、学校教育では、児童生徒に情報技術や情報活用能力を育成することが求められると同時に、ICT環境を学習活動に生かし、児童生徒の学力向上を図りながら、特色ある学校づくりを推進するため、ICT機器の計画的な整備が求められています。</p> <p>また、小規模校における多人数での教育活動の機会を保障するために、ICT機器を活用し、他の学校との合同授業や合同活動などを行うことが有効と考えられることから、小規模校におけるICT機器の利活用のあり方を研究し、整備していくことが必要です。</p>																				
今後の主な取組	<p>【時代に応じたICT環境の整備】</p> <p>平成26年度から平成30年度の5ヵ年間で市内小中学校の児童生徒用PC、教職員用PC等の更新及び電子黒板等情報機器の導入を行います。</p>																				
資料等	<p>【雲仙市小・中学校パソコン機器更新計画】</p> <table border="1" data-bbox="331 1532 1264 1659"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H33～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器更新校</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>次期更新計画により整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>①愛野小・富津小・南串一小・南串二小・愛野中 ②小浜小・雲仙小・木指小・北串小・小浜中 ③川床小・大塚小・鶴田小・国見中・瑞穂中・千々石中・南串中 ④西郷小・岩戸小・大正小・吾妻中 ⑤多比良小・土黒小・八斗木小・神代小・千々石一小・千々石二小</p>							年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H33～	機器更新校	①	②	③	④	⑤	次期更新計画により整備
年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H33～															
機器更新校	①	②	③	④	⑤	次期更新計画により整備															
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、電子黒板等情報機器の整備を図り、時代に応じたICT環境を整備する。 ・電子教科書の導入検討を行う。 <p>【普通教室の電子黒板整備率(H26) 11%→(H32) 100%】</p>																				

2 学校教育の充実

施策の方針

自ら学ぶ力と豊かな心や健康な体を育みます！

明日を担う子どもたちが、変化の激しい現代社会の中で、豊かな人間性を培い、よりよい社会を構築していこうとするためには、子どもたちの確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切です。

そこで、市内の小・中学校では、これまで児童生徒の自ら学ぶ力と豊かな心や健康と体力の育成に向けて、学習内容を工夫・改善し、児童生徒一人一人の能力などに応じた学習指導方法等について、実践的な校内研究を推進したり、スクールサポーター事業や外国語指導助手（ALT）を配置したりして、学校教育を推進してきました。

このような中、学力向上やいじめや不登校の問題、命を大切にすることや思いやりの心などの倫理観や規範意識の低下など、多くの教育課題が指摘されています。また、核家族化が進み、地域における家族間の付き合いも減っているなど人間関係の希薄化や人と人のふれあいの体験が不足し、人間関係づくりが苦手な児童生徒も増えていることから、学校、家庭や地域社会が十分連携を図りながら、児童生徒の豊かな人間性や社会性などを育む道徳教育の充実がますます重要になっています。

また、児童生徒が楽しく学校に通うことができるように、特別支援教育や教育相談など個に応じた指導体制を一層充実させるとともに、通学路の安全を確保したり、安心・安全な学校給食を提供したりする必要があります。

児童生徒の体力については、運動能力や体力の低下が叫ばれていますが、本市においても走力や握力、跳力、柔軟性など体力の偏りが見られます。また、健康面では、児童生徒のむし歯の数が多いなどの課題もあります。

併せて、小規模校における多人数での教育活動の機会を保障するために、学校間の交流学习（*48）などを推進して、小規模校の児童のコミュニケーション力などを育成したり、規模の大きい学校の児童においても、新たな仲間との人間関係の中での協調性等をより一層身に付けさせたりして、中1ギャップ（*49）の解消などを図ることが大切です。

以上のような教育課題を解決していくためには、今後も、学力向上、心の教育、健康や体力の向上などの教育活動を充実させるとともに、児童生徒の実態や一層進展すると予測される国際化や情報化などの社会の変化に教育が的確に対応していく必要があります。

主要施策 1	確かな学力を育成する教育の推進																																																									
現状	<p>学力の向上は、全ての児童生徒にとって、様々な場で生き生きと活躍できる力として必要なものであると考えています。</p> <p>そこで、「確かな学力」の育成のために、児童生徒の実態を把握し、学習指導の改善等に取り組んでいます。</p>																																																									
今後の課題・方向性	<p>【平成27年度全国学力・学習状況調査の結果】</p> <table border="1" data-bbox="331 495 1401 846"> <thead> <tr> <th>学校種</th> <th>調査問題</th> <th>本市平均</th> <th>長崎県平均</th> <th>全国平均</th> <th>本県との差</th> <th>全国との差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小学校</td> <td>国語A</td> <td>68.0</td> <td>69.0</td> <td>70.0</td> <td>-1.0</td> <td>-2.0</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>61.9</td> <td>64.1</td> <td>65.4</td> <td>-2.2</td> <td>-3.5</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>74.8</td> <td>74.0</td> <td>75.2</td> <td>+0.8</td> <td>-0.4</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>40.1</td> <td>43.5</td> <td>45.0</td> <td>-3.4</td> <td>-4.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中学校</td> <td>国語A</td> <td>71.2</td> <td>75.5</td> <td>75.8</td> <td>-4.3</td> <td>-4.6</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>61.6</td> <td>66.0</td> <td>65.8</td> <td>-4.4</td> <td>-4.2</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>61.9</td> <td>64.1</td> <td>64.4</td> <td>-2.2</td> <td>-2.5</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>36.1</td> <td>40.3</td> <td>41.6</td> <td>-4.2</td> <td>-5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童生徒が身に付けるべき基礎的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む意欲・態度の確実な定着のために、学校教育の質の向上について研究・研修を行っていく必要があります。</p>	学校種	調査問題	本市平均	長崎県平均	全国平均	本県との差	全国との差	小学校	国語A	68.0	69.0	70.0	-1.0	-2.0	国語B	61.9	64.1	65.4	-2.2	-3.5	算数A	74.8	74.0	75.2	+0.8	-0.4	算数B	40.1	43.5	45.0	-3.4	-4.9	中学校	国語A	71.2	75.5	75.8	-4.3	-4.6	国語B	61.6	66.0	65.8	-4.4	-4.2	数学A	61.9	64.1	64.4	-2.2	-2.5	数学B	36.1	40.3	41.6	-4.2	-5.5
学校種	調査問題	本市平均	長崎県平均	全国平均	本県との差	全国との差																																																				
小学校	国語A	68.0	69.0	70.0	-1.0	-2.0																																																				
	国語B	61.9	64.1	65.4	-2.2	-3.5																																																				
	算数A	74.8	74.0	75.2	+0.8	-0.4																																																				
	算数B	40.1	43.5	45.0	-3.4	-4.9																																																				
中学校	国語A	71.2	75.5	75.8	-4.3	-4.6																																																				
	国語B	61.6	66.0	65.8	-4.4	-4.2																																																				
	数学A	61.9	64.1	64.4	-2.2	-2.5																																																				
	数学B	36.1	40.3	41.6	-4.2	-5.5																																																				
今後の主な取組	<p>【教職員研修会の充実】 学力の向上など教育課題解決のために教職員を対象とした各種研修会を開催し、教職員の資質向上を図ります。</p> <p>【授業改善のための研究指定事業】 児童生徒の実態に応じた効果的な学習指導方法等の研究実践校を指定し、研究の成果を市内の学校に普及させます。</p>																																																									
資料等	<p>【雲仙市立小・中学校学力向上対策研修会（年2回）】 （目的）全国学力・学習状況調査（*50）及び長崎県学力調査（*51）の結果を踏まえた各校の取組の推進と授業改善を図る。 （協議）「調査結果分析をふまえた今後の取組」 （演習）「学力の3要素（*52）をふまえた学力向上プランの作成」</p> <p>【雲仙市研究指定事業】</p> <table border="1" data-bbox="331 1576 1401 1845"> <thead> <tr> <th>指定年度</th> <th>研究指定校</th> <th>研究主題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26・27</td> <td>愛野小学校</td> <td>生きて働く国語の力を育成する国語科授業の創造 ～自分の思いを生き生きと表現できる子どもを目指して～</td> </tr> <tr> <td>H26・27</td> <td>吾妻中学校</td> <td>互いを敬い心豊かでたくましい生徒の育成 ～道徳授業の工夫と全教育活動での重点化した取組を通して～</td> </tr> <tr> <td>H27・28</td> <td>神代小学校</td> <td>学び合う児童の育成 ～学習問題の提示の工夫及び書く・話す活動の充実を通して～</td> </tr> </tbody> </table>	指定年度	研究指定校	研究主題	H26・27	愛野小学校	生きて働く国語の力を育成する国語科授業の創造 ～自分の思いを生き生きと表現できる子どもを目指して～	H26・27	吾妻中学校	互いを敬い心豊かでたくましい生徒の育成 ～道徳授業の工夫と全教育活動での重点化した取組を通して～	H27・28	神代小学校	学び合う児童の育成 ～学習問題の提示の工夫及び書く・話す活動の充実を通して～																																													
指定年度	研究指定校	研究主題																																																								
H26・27	愛野小学校	生きて働く国語の力を育成する国語科授業の創造 ～自分の思いを生き生きと表現できる子どもを目指して～																																																								
H26・27	吾妻中学校	互いを敬い心豊かでたくましい生徒の育成 ～道徳授業の工夫と全教育活動での重点化した取組を通して～																																																								
H27・28	神代小学校	学び合う児童の育成 ～学習問題の提示の工夫及び書く・話す活動の充実を通して～																																																								
達成目標	<p>・全国学力・学習状況調査において、小学校は全国平均正答率、中学校は県平均正答率を上回る。</p> <p>【小学校（H27）全国比-4.9～-0.4 →（H32）全国平均】</p> <p>【中学校（H27）県比-4.4～-2.2 →（H32）県平均】</p>																																																									

主要施策 2	豊かな心を育む教育の推進																			
現状	<p>現代社会は、多様な価値観や生き方が存在し、人間関係が希薄化するなど大きく変化しています。そこで、学校、家庭、地域が連携して子どもたちの豊かな心を育むことが大切です。</p> <p>学校教育においては、命を大切にするとともに、他を思いやるなど豊かな心をもった児童生徒の育成を図るため、道徳の授業を充実させるとともに、学校、家庭や地域社会との連携を大切にした取組を各学校で展開しています。</p>																			
今後の方向性 課題・	<p>児童生徒を取り巻く環境の変化から、体験の減少等の中、生命尊重の心の不十分さ、自尊感情の乏しさ、規範意識の低下、コミュニケーション能力の低下など、児童生徒の心の活力が弱っている傾向があります。そこで、今後も学校・家庭・地域が連携し児童生徒の豊かな心を育みます。</p> <p>また、児童生徒数の減少に伴い、特に小学校では小規模校が増えています。小規模校では、児童一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導ができる反面、集団活動に制約を受けるなどの課題が見られるとともに、中学校進学に不安等を抱える児童もいることから、多人数での学習活動の機会を増やします。</p>																			
今後の主な取組	<p>【道徳教育の充実】 道徳の時間の指導において、生命の尊重に関する内容項目を重点化して取り組むとともに、教育週間などで道徳の授業を公開し、保護者や地域住民と命の教育について考える機会を設けます。</p> <p>【小学校間交流学習の推進】 小学校から中学校に進学する時の不安等（中1ギャップ）を解消したり、小規模校の児童に多人数での学習活動の機会をもたせたりするために、学校間の交流学習を推進します。</p> <p>【ジオパーク学習の推進】 島原半島ジオパークを活用した教育活動を推進し、ふるさとに対する誇りや愛着を深める学習を推進します。</p>																			
資料等	<p>【雲仙市子どもの心を見つめる教育週間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にする心や思いやりの育成 ・あこがれや将来への志の育成 ・あいさつやマナーの向上 <p>【小学校間交流学習】 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同授業・合同修学旅行・宿泊学習・遠足 等 <p>(実施状況)</p> <table border="1" data-bbox="331 1704 1062 1848"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>～H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施数(校)</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>実施率(%)</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>80%</td> <td>75%</td> <td>目標 100%</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	～H32	実施数(校)	6	10	16	15	20	実施率(%)	30%	50%	80%	75%	目標 100%	 <p>【授業参観】</p>  <p>【宿泊体験学習】</p>
	H23	H24	H25	H26	～H32															
実施数(校)	6	10	16	15	20															
実施率(%)	30%	50%	80%	75%	目標 100%															
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校で学校間交流学習を実施する。 ・【小学校における学校間交流 (H26) 15校 → (H32) 20校】 ・いじめの問題ゼロを目指す。 ・【小学校いじめ認知件数 (H26) 17件 → (H32) 0件】 ・【中学校いじめ認知件数 (H26) 5件 → (H32) 0件】 																			

主要施策 3	学校体育の推進																																																																								
現状	<p>学校における体育は、青少年の心身の健全な発達に資するものであり、スポーツに関する技能及び生涯にわたってスポーツに親しむ態度を養う上で重要な役割を果たすものです。</p> <p>そこで、新体力テストを用いて児童生徒の運動能力や体力の状況を把握するとともに、日常生活における運動習慣及び基本的な生活習慣などの状況を把握し、その改善を通して体力・運動能力を向上させる必要があります。</p>																																																																								
今後の課題・方向性	<p>市内の児童生徒の新体力テストの結果を見ると、走力や握力、跳力、柔軟性などに課題があることがわかります。</p> <p>そこで、毎年実施している新体力テストの結果を元に課題が見られる体力要素を分析し、「体力向上アクションプラン」を作成した上で、個人や各学校の実態に応じた取組を行い、体力の向上を目指します。</p>																																																																								
今後の主な取組	<p>【体力向上アクションプランの推進】</p> <p>体力、運動能力・運動習慣等調査の結果を分析し、「体力向上アクションプラン」を作成して児童生徒の体力向上に努めます。</p> <p>【子どもの体力向上指導者養成研修の開催】</p> <p>教職員を対象とした実践的な体力向上研修会を開催し、雲仙市の児童生徒の運動能力や体力の実態を把握し、各学校における体力向上の取組を推進します。</p>																																																																								
資料等	<p>【H27体力、運動能力・運動習慣等調査】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="331 1290 820 1592"> <p>雲仙市小学校5年 (全国平均が50点)</p> <table border="1"> <caption>雲仙市小学校5年 (全国平均が50点)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>握力</td><td>51</td><td>49</td><td>50</td></tr> <tr><td>ソフトボール投げ</td><td>48</td><td>47</td><td>46</td></tr> <tr><td>立ち幅跳び</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>50m走</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>20mシャトルラン</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>反復横とび</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>長座体前屈</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>上体起こし</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="868 1290 1370 1592"> <p>雲仙市中学校2年 (全国平均が50点)</p> <table border="1"> <caption>雲仙市中学校2年 (全国平均が50点)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>握力</td><td>49</td><td>48</td><td>50</td></tr> <tr><td>ハンドボール投げ</td><td>48</td><td>47</td><td>46</td></tr> <tr><td>立ち幅跳び</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>50m走</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>持久走</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>反復横とび</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>長座体前屈</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> <tr><td>上体起こし</td><td>47</td><td>46</td><td>46</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>【子どもの体力向上指導者養成研修】</p> <p>(目的) 子どもの体力の現状を把握し、子どもの体力向上に向けた教職員研修を通して、雲仙市の子どもの体力向上に資する。</p>	項目	男子	女子	全国平均	握力	51	49	50	ソフトボール投げ	48	47	46	立ち幅跳び	47	46	46	50m走	47	46	46	20mシャトルラン	47	46	46	反復横とび	47	46	46	長座体前屈	47	46	46	上体起こし	47	46	46	項目	男子	女子	全国平均	握力	49	48	50	ハンドボール投げ	48	47	46	立ち幅跳び	47	46	46	50m走	47	46	46	持久走	47	46	46	反復横とび	47	46	46	長座体前屈	47	46	46	上体起こし	47	46	46
項目	男子	女子	全国平均																																																																						
握力	51	49	50																																																																						
ソフトボール投げ	48	47	46																																																																						
立ち幅跳び	47	46	46																																																																						
50m走	47	46	46																																																																						
20mシャトルラン	47	46	46																																																																						
反復横とび	47	46	46																																																																						
長座体前屈	47	46	46																																																																						
上体起こし	47	46	46																																																																						
項目	男子	女子	全国平均																																																																						
握力	49	48	50																																																																						
ハンドボール投げ	48	47	46																																																																						
立ち幅跳び	47	46	46																																																																						
50m走	47	46	46																																																																						
持久走	47	46	46																																																																						
反復横とび	47	46	46																																																																						
長座体前屈	47	46	46																																																																						
上体起こし	47	46	46																																																																						
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、全小中学校において「体力向上アクションプラン」を作成し、体力・運動能力テストにおいて、小5・中2で全国平均値を3種目以上上回る。 <p>【小学校5年男子 (H27) 全国平均<6種目 → (H32) 全国平均<7種目】</p> <p>【小学校5年女子 (H27) 全国平均<5種目 → (H32) 全国平均<7種目】</p> <p>【中学校2年男子 (H27) 全国平均<2種目 → (H32) 全国平均<4種目】</p> <p>【中学校2年女子 (H27) 全国平均<4種目 → (H32) 全国平均<6種目】</p>																																																																								

主要施策 4	健康安全教育の推進	
現状	<p>児童生徒が毎日、健康で安全に学校生活や日常生活を送ることは、大人にとって大きな目標であるとともに強い願いでもあります。</p> <p>児童の歯・口腔の健康づくり対策として、平成26年度からフッ化物洗口を希望する児童がフッ化物洗口できる環境を整えています。</p> <p>これまで通学路点検で把握できた危険箇所については、平成28年度までに関係機関・関係課と連携し整備を進めています。</p>	
今後の課題・方向性	<p>市内の児童生徒のむし歯の数は、県内の他市町と比較すると高い数値で推移しています。そこで、「長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」にも規定されているフッ化物洗口を小学校で実施できる環境を今後も維持し、むし歯予防対策を推進していきます。</p> <p>また、通学路の安全については、各学校で毎年安全点検を実施しています。今後も、通学路の点検を適切に行い、その危険箇所については、関係機関や関係課と連携を図りながら対応します。</p>	
今後の主な取組	<p>【フッ化物洗口事業】 小学校において、フッ化物洗口を希望する児童がフッ化物洗口できる環境を整えます。</p> <p>【通学路の安全確保】 各学校で通学路安全点検を実施し、把握できた危険箇所については、関係各機関や関係各課と連携を図りながら対応していきます。</p>	
資料等	<p>【フッ化物洗口事業】 (目的) 効果的な歯・口腔の健康づくり対策として、小学生を対象としたフッ化物洗口を実施し、むし歯予防を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>H26 実施校 10校 (50%) H27 実施校 20校 (100%) H28～ 全小学校で実施できる環境を維持</p> </div> <p>【通学路の安全確保】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>H26 通学路整備箇所 19箇所 H27 通学路整備箇所 21箇所 H28 通学路整備箇所 22箇所 H28～ 随時点検・整備</p> </div>	 <p>【フッ化物洗口】</p>  <p>【通学路点検】</p>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校でフッ化物洗口を実施し、一人あたりのう歯率を減少させる。 【小学校6年児童 (H26) 1.45本 → (H32) 0.8本以下】 毎年度、各学校で通学路安全点検を実施し、危険箇所対応を継続する。 	

主要施策 5	特別支援教育の推進																																		
現 状	<p>特別支援教育においては、障害のある児童生徒や支援が必要な児童生徒の自立や学習活動を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことが求められています。</p> <p>そこで、本市においては、全ての小・中学校にスクールサポーターを配置し、学習活動や読書活動などの支援を充実させてきました。</p> <p>また、学校では、特別支援学級を設置するなどして特別支援教育を充実させています。</p>																																		
今 後 の 方 向 性 ・ 課 題	<p>特別な支援が必要な児童生徒数は、特別支援学級（*53）の在籍数や通級指導教室（*54）で学習している児童数や、個別の支援を受けている児童生徒数などから増加する傾向にあると言えます。</p> <p>そこで、各学校においては、全校的な支援体制の確立や児童生徒の実態の把握を行い、児童生徒一人一人の力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための指導・支援に努めます。</p>																																		
今 後 の 主 な 取 組	<p>【特別支援学級・通級指導教室の設置】</p> <p>特別な支援が必要な児童生徒に対し、きめ細かな教育を行うために、特別支援学級や通級指導で特別な配慮のもとに、児童生徒の実態に応じた教育を行います。</p> <p>【スクールサポーター配置事業】</p> <p>市内の小・中学校にスクールサポーターを配置し、児童生徒の学習支援や生活支援等の充実を図ります。</p>																																		
資 料 等	<p>【スクールサポーター支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習活動への支援 ・生徒・保護者等との教育相談活動 ・不登校児童生徒への支援 ・読書活動推進の支援 	 <p>【スクールサポーターによる学習活動支援】</p> <p>【特別支援学級・通級指導教室の設置状況（10年間）】</p> <table border="1" data-bbox="331 1736 1396 1883"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>通級指導教室</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	特別支援学級	15	16	20	20	19	15	18	20	26	26	通級指導教室	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27																									
特別支援学級	15	16	20	20	19	15	18	20	26	26																									
通級指導教室	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4																									
達 成 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒の実態に応じた特別支援学級を設置する。 ・全小中学校27校へのスクールサポーターの配置を継続する。 																																		

主要施策 6	教育相談事業の推進																																			
現状	<p>現代社会は、多様な価値観や生き方が存在する中に、人間関係が希薄化するなど大きく変化しています。児童生徒を取り巻く環境においても、ストレスや悩みが増え、いじめや不登校等が学校教育において大きな課題となっています。そこで、児童生徒が安心して楽しく学校に通学できるよう、児童生徒サポートセンター事業や親子ホットライン事業といった教育相談事業を推進しています。</p>																																			
今後の課題・方向性	<p>不登校・学校生活不適応等の児童生徒に対して、学校では各関係機関及び専門家との連携を図り対応を行っているところですが、児童生徒が抱える心理的・情緒的原因並びに児童生徒を取り巻く環境等が多様化・複雑化・深刻化しているため、専門的な知識や経験をもった指導員との連携が必要です。</p> <p>また、様々な教育課題に対して、児童生徒や保護者が相談しやすい環境を整備することが大切です。</p>																																			
今後の主な取組	<p>【児童生徒サポートセンター事業】</p> <p>不登校などの教育課題の解消に向けて、訪問指導員が児童生徒や保護者などに対して直接的な支援を行います。</p> <p>【親子ホットライン事業】</p> <p>いじめや不登校などの教育課題に対し、児童生徒や保護者等が気軽に相談できる体制を整備します。</p>																																			
資料等	<p>【児童生徒サポートセンター事業、訪問指導件数／年】</p> <table border="1" data-bbox="402 1429 1177 1713"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭訪問</td> <td>295</td> <td>322</td> <td>217</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>学校訪問</td> <td>329</td> <td>350</td> <td>280</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>個別指導</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>624</td> <td>672</td> <td>497</td> <td>491</td> </tr> </tbody> </table> <p>【親子ホットライン事業、相談電話件数／年】</p> <table border="1" data-bbox="402 1767 1168 1877"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談電話</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	家庭訪問	295	322	217	249	学校訪問	329	350	280	153	個別指導				89	合計	624	672	497	491		H23	H24	H25	H26	相談電話	20	20	15	7
	H23	H24	H25	H26																																
家庭訪問	295	322	217	249																																
学校訪問	329	350	280	153																																
個別指導				89																																
合計	624	672	497	491																																
	H23	H24	H25	H26																																
相談電話	20	20	15	7																																
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 不登校、学校生活不適応児童生徒や保護者に対して、学校や関係機関との連携を通して、訪問指導や相談などの直接的支援を充実する。 <p>【不登校児童生徒数 (H26) 14人 → (H32) 10人未満】</p>																																			

主要施策 7	国際理解教育の推進	
現状	<p>社会や経済の国際化が急速に進展し、学校教育においても国際理解教育や外国語教育の重要性が叫ばれ、小学校での英語の教科化や中学校における英語による英語授業などの必要性も検討されています。</p> <p>そこで、授業の実施に当たっては、外国語指導助手（ALT）の生きた英語にふれさせながら、国際化する社会に対応できる児童生徒の育成を目指して、英語教育の充実と外国文化への理解を高める指導を推進しています。</p>	
今後の方向性 課題・	<p>児童生徒は、英語でのコミュニケーションに積極的に関わろうとする態度は育ってきていますが、「聞く・話す・読む・書く」という英語を理解、表現できる実践的な能力には課題もあります。</p> <p>そこで、今後も外国語指導助手と担任や英語担当教員との連携を通して、外国語活動や英語教育を充実させ、国際理解の推進とグローバル化する社会に対応できる児童生徒を育成していきます。</p>	
今後の主な取組	<p>【ALT配置事業】</p> <p>外国語活動や英語の授業を楽しく質の高いものとするために、今後も市内の小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置するとともに、派遣指導計画を毎年見直し、各学校の指導状況に応じたものへと改善します。</p>	
資料等	<p>【ALTの職務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校における英語の授業の補助 ・ 小学校における外国語活動の補助 ・ 英語の教材作成の補助 ・ 学校行事や課外活動などへの協力 等 <p>【ALT配置計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校に1週間に2日～3日程度の割合で配置 ・ 小学校に2週間に1日程度の割合で配置 ・ 6名の外国語指導助手（ALT）を6グループの学校で活用 	 <p>【外国語活動】</p>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校においては、新学習指導要領実施に伴う英語学習へのスムーズな移行を図る。 ・ 中学校においては、県学力調査（英語）の県平均正答率を上回る。 <p>【県学力調査（中2英語）（H27）県比-4.8 → （H32）県平均】</p>	

主要施策 8	安全・安心な学校給食の提供と食育の推進
現状	<p>学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するだけでなく、食育の推進を図るなどの教育的役割が期待されています。</p> <p>そこで、本市においては、3つの学校給食センターで学校給食衛生管理基準等に従い安全・安心な学校給食の提供に努めています。</p> <p>特に、アレルギー疾患のある児童生徒については、その症状や特徴を適切に把握し、学校における緊急時等の対応について態勢を整えています。</p> <p>また、児童生徒の食に関する知識と食を選択する力などを育成し、健全な食生活を実践することができるように、栄養教諭などが中心となって食育を推進しています。</p>
今後の課題・方向性	<p>「食」は、児童生徒の健康や体力を支える基盤であるため、児童生徒が栄養や食事のとり方などについて、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力などを身に付け、健康で豊かな人間性を育てていけるよう、様々な体験活動等との関連を図りながら「食育」を更に充実させます。</p> <p>また、学校給食については、安全・安心な給食を提供するため、現在3つの給食センターで調理・配送を行い、市内の全ての小・中学校で完全給食を実施しています。3施設のうちには老朽化が進んでいる施設もあり、効率的運営を行うためには、施設の改善・整備が必要となっています。</p> <p>なお、食物アレルギーに対しては、保護者に「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出を求め、保護者との協議を通じた具体的な取組を進めていきます。</p>
今後の主な取組	<p>【食育の推進】</p> <p>食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるための食育の授業を充実させるとともに、献立表や食育通信等による情報発信を通して食育を推進します。</p> <p>【学校給食センター施設の整備】</p> <p>児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するために、老朽化した給食センターを統廃合し、適切な施設管理と運営を行います。</p>
資料等	<p>【食育の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の各教科領域において実際の生活と関連付けた指導 ・学校栄養教諭及び学校栄養職員による定期的な学校訪問指導等を通じた食育の充実 <p>【学校給食実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食回数（約197日／年） [H27年度] ・給食数（国見給食センター 1,273食 吾妻愛野給食センター 1,357食 南部給食センター 1,355食） 計3,985食 [H27年度]
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校の全学年で栄養教諭による食育授業と給食指導を実施する。 ・食育指導を充実させ、給食の残菜量を減らす。 <p>【給食残菜量（H26） 277.1kg/月 → （H32） 50.0kg/月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度までに、2つの学校給食センターへ統合する。

3 生涯学習の推進

施策の方針

生涯にわたって学べる環境をつくります！

これからの雲仙市の未来を担う青少年の健全育成を進めるためには、「地域の子どもは、地域で育てる」という地域社会全体で子どもたちを見守る風土や社会教育力、家庭の中で子どもをしつけ育てる家庭教育力をつけることが必要です。

高齢者世帯が増え、核家族化が進む中、地域における世代間の交流は少なくなり、地域コミュニティ(*55)の持っていた力が少しずつ弱まってきている今日、まず各自治公民館活動の活発化を図り、「地域の子どもは、地域で育てる」をモットーに地域社会全体の教育力を高めるとともに、雲仙市青少年健全育成協議会と連携し、大人たちのあり方を見直しみんなで子どもを育てる「ココロねっこ運動」や、家庭における団欒や家族の有り方を考える「家庭の日」の周知に努め、子どもたちの健全育成に努めます。

また、みんなが住みたくなる街、市民が活気に溢れ生涯にわたって学ぶまちづくりを目指し、生涯学習の環境を整えるとともに、市民がいくつになっても学びたいと思う、市民自らの知的好奇心を刺激するプログラムを展開し、学びの実践の場を提供する各種の講座や教室を開催することが必要です。

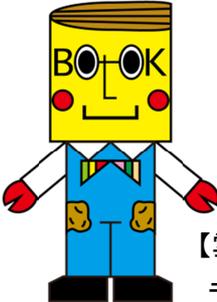
各公立公民館等では、アンケートを活用し市民のニーズを取り入れながら、市民の学びのきっかけとなる各種の趣味教養を深める講座や、子ども向けの夏休みの作品づくり教室、レクリエーション講座、高齢者向けの体操教室や生きがいつくり講座など、各種の生涯学習のプログラムを展開するほか、「放課後子ども教室」や「土曜学習」を開催し子どもたちの居場所づくりに努めています。

雲仙市図書館・各図書室では、図書ボランティアと連携した「おはなしの会」などによる読み聞かせや、赤ちゃんと保護者が絵本を介して楽しい時間を分かち合うことを応援する「赤ちゃんとはじめての絵本応援事業」では、乳幼児期からの本とふれあい親しむ事業を展開しています。

また、図書館と併設したホールで開催されるコンサートと連携した事業や、移動図書館車で各小学校や福祉施設を巡回し、多くの市民に本とふれあう機会をつくっています。

これからも、自ら学びたいという意欲を刺激し、自主グループ化が進むような多くの方に学びの喜びを感じ、色々なことを学ぶきっかけとなるプログラムを工夫し展開していきます。

主要施策 1	青少年の健全育成の推進
現状	<p>雲仙市青少年健全育成協議会及び雲仙市子ども会育成連絡協議会と連携を図りながら、子どもたちの生きた声を発表する「少年の主張大会」や、子どもたちが体験を通じて学ぶ「いきいき交流大会」の開催、「ココロねっこ運動」の推進、「家庭の日」の周知に努めています。</p> <p>I T機器の普及で、有害な情報が保護者が知らない間に青少年へ広がっている現状を受け、青少年や保護者向けのメディア安全指導講演会を開催し、こころの教育・命の教育に努めています。</p>
今後の方向性 課題・	<ul style="list-style-type: none"> 弱くなった地域コミュニティの再構築や個々の新たなコミュニティの創出を進め、「地域の子どもは地域で育てる」機運を高め、地域・家庭の教育力を高めることが求められています。 雲仙市青少年健全育成協議会と連携し、「ココロねっこ運動」の推進や「家庭の日」の周知に努めていますが、事業や活動の方法・あり方等を見直し、本運動の重要性を発信など、市民をあげての活動が望まれます。 氾濫する情報化社会の今日、青少年の健全育成を誰もが願っており、白ポストの活用や書店指導等の有害図書対策をはじめ、市民全体に向けた一層のメディア安全指導が望まれます。
今後の主な取組	<p>【地域が一体となった青少年健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの基礎となる自治公民館活動の活発化を図り「地域の子どもは地域で育てる」機運を高め、雲仙市青少年健全育成協議会を中心に地域の子ども会や学校、自治会、警察等の関係機関と連携を強化し、地域の環境浄化と非行・事故の防止を推進します。 児童生徒による「少年の主張大会」を各地域及び市全体で開催し、子どもたち自身の言葉で意見を発する機会を設け、市民へ青少年の健全育成活動の重要性を発信します。 誰もが手軽に利用することができる携帯電話やコンピュータ機器をはじめとしたメディアの危険性の啓発を進めると共に、学校や社会体育の現場と連携し、「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の周知に努めます。
資料等	<p>【雲仙市青少年健全育成協議会と連携した取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年の主張大会 夜間パトロール <p>【雲仙市子ども会育成連絡協議会と連携した取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいき交流大会 <p>【メディア安全指導の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> メディア安全指導講演会 <div data-bbox="1121 1431 1414 1641" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【雲仙市少年の主張大会】</p>
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内各地区で「少年の主張大会」や「見守り活動」等の活動を展開し、青少年健全育成活動の大切さや「ココロねっこ運動」、「家庭の日」の周知を図る。 小中学校入学説明会・雲仙市青少年健全育成協議会・保育園等でメディアの安全指導に関する講演会や指導講習会を開催し、正しい利用の仕方の啓発を進める。【実績 4 回 (H26) → 目標 3 5 回 (H32)】

主要施策 2	読書環境の充実																																																																											
現 状	<p>雲仙市図書館や各図書室では、図書ボランティアと連携した読み聞かせや、乳幼児期から本とふれあい親しむ事業を展開しています。</p> <p>また、図書館と併設したホールで開催されるコンサートと連携した事業や、移動図書館車で各小学校や福祉施設を巡回し、多くの市民に本とふれあう機会を作っています。</p>																																																																											
今後の 方向性 課題・	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民がより多くの本と出会うための施策が求められています。具体的には、市民と本がふれあうきっかけをつくる新たな取組、市民の誰もが生きがいつくりに取り組める環境づくり、たくさんの本とふれる読書空間づくりを目指すなどの更なる取組が求められています。 図書館・図書室と学校・地域・家庭との連携を深め、図書ボランティアの活動を支え、乳幼児期からの読書推進が求められます。 																																																																											
主な取組 今後の	<p>【読書活動振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雲仙市図書館と各公立公民館図書室の連携強化を進め、さらに「家読」の推進や移動図書館車の有効な活用を研究し、市民の誰もが本とふれあうことができる機会を提供します。 地域の特色を生かし、時節に応じ展示や企画に取り組むなど、市民に身近な図書館運営を進めます。 愛野町公民館図書室並びに南串山図書室を整備し、西部・南部地区の読書環境を整え、読書活動の振興を進めます。 																																																																											
資料等	<p>【図書館、図書室等の利用状況】 (単位：上段＝人、下段＝冊)</p> <table border="1" data-bbox="331 1099 1404 1442"> <thead> <tr> <th></th> <th>図書館</th> <th>瑞穂</th> <th>吾妻</th> <th>愛野</th> <th>千々石</th> <th>小浜</th> <th>南串山</th> <th>移動北</th> <th>移動南</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>16,300</td> <td>2,299</td> <td>3,083</td> <td>2,349</td> <td>3,438</td> <td>5,894</td> <td>1,143</td> <td>3,097</td> <td>3,189</td> <td>40,792</td> </tr> <tr> <td>81,733</td> <td>7,975</td> <td>12,666</td> <td>9,357</td> <td>10,979</td> <td>20,347</td> <td>4,436</td> <td>20,054</td> <td>10,493</td> <td>178,040</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>15,205</td> <td>2,169</td> <td>3,228</td> <td>1,826</td> <td>3,589</td> <td>4,645</td> <td>1,162</td> <td>3,702</td> <td>3,782</td> <td>39,308</td> </tr> <tr> <td>77,103</td> <td>7,717</td> <td>13,536</td> <td>7,366</td> <td>10,934</td> <td>16,997</td> <td>4,597</td> <td>21,876</td> <td>11,973</td> <td>172,099</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>14,519</td> <td>2,296</td> <td>2,944</td> <td>2,550</td> <td>3,980</td> <td>4,959</td> <td>1,513</td> <td>3,699</td> <td>3,887</td> <td>40,347</td> </tr> <tr> <td>78,134</td> <td>8,498</td> <td>10,947</td> <td>10,083</td> <td>11,219</td> <td>17,878</td> <td>6,121</td> <td>22,119</td> <td>13,792</td> <td>178,791</td> </tr> </tbody> </table> <p>【図書館キャラクターの活用】 公募で選ばれたキャラクターを移動図書館車のラッピングや図書バッグへ活用し、親しみを深める。</p> <p>【図書に関する催しの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館まつり 読書週間 読書推進講演会 読書推進コンサート   <p>【赤ちゃんとはじめての絵本応援事業】 【雲仙市図書館キャラクターラブックン】</p>			図書館	瑞穂	吾妻	愛野	千々石	小浜	南串山	移動北	移動南	計	H24	16,300	2,299	3,083	2,349	3,438	5,894	1,143	3,097	3,189	40,792	81,733	7,975	12,666	9,357	10,979	20,347	4,436	20,054	10,493	178,040	H25	15,205	2,169	3,228	1,826	3,589	4,645	1,162	3,702	3,782	39,308	77,103	7,717	13,536	7,366	10,934	16,997	4,597	21,876	11,973	172,099	H26	14,519	2,296	2,944	2,550	3,980	4,959	1,513	3,699	3,887	40,347	78,134	8,498	10,947	10,083	11,219	17,878	6,121	22,119	13,792	178,791
	図書館	瑞穂	吾妻	愛野	千々石	小浜	南串山	移動北	移動南	計																																																																		
H24	16,300	2,299	3,083	2,349	3,438	5,894	1,143	3,097	3,189	40,792																																																																		
	81,733	7,975	12,666	9,357	10,979	20,347	4,436	20,054	10,493	178,040																																																																		
H25	15,205	2,169	3,228	1,826	3,589	4,645	1,162	3,702	3,782	39,308																																																																		
	77,103	7,717	13,536	7,366	10,934	16,997	4,597	21,876	11,973	172,099																																																																		
H26	14,519	2,296	2,944	2,550	3,980	4,959	1,513	3,699	3,887	40,347																																																																		
	78,134	8,498	10,947	10,083	11,219	17,878	6,121	22,119	13,792	178,791																																																																		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 全市民に年1度は利用してもらうことを目標に、平成32年までに図書館等の利用者数、貸出冊数を増やします。 【実績 40,347人(H26)→目標 47,000人(H32)】 【実績 178,791冊(H26)→目標 235,000冊(H32)】 																																																																											

主要施策 3	多様な生涯学習プログラムの実施	
現 状	各公立公民館では、地域のニーズを取り入れながら、市民の学びのきっかけとなる女性向け講座や男性向け講座、子ども向け講座、高齢者向け講座など各種の生涯学習のプログラムを展開しています。	
今 後 の 方 向 性 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな講座開催をはじめ、市内全域を見渡し各公立公民館が連携した講座の企画が求められます。 ・ 講座・教室参加者の自主活動グループ化など、学びの習慣化に向けた一層の推進と創意工夫が求められます。 	
今 後 の 主 な 取 組	<p>【学ぶことの喜びと楽しみ体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主活動グループの活動状況を調査・把握し、育成・推進を図り、学習の目的とする対象者を絞り込んだ講座・教室を計画し、参加者に対し生涯学習の喜びや楽しみを体験させることで、自主的な活動へと導きます。 ・ 社会の中で既に実施している活動を検証し、これから増える実年層や若者を呼び込み定住促進に繋がる新たなニーズを探り、市民の活動意欲を誘う市民講座や公民館講座の企画を進めます。 ・ 子どもたちの可能性を伸ばし新たな学びの発見や喜びを伝え、居場所づくりのため、「放課後子ども教室」及び「土曜学習」を展開します。 	
資 料 等	<p>【市民講座 UNZEN】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品づくり、手芸等の講座 ・ 韓国語講座 ・ 男性料理教室 ・ 新たな趣味や発見の講座 ・ ジオ体験講座 <p>【子ども講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みや冬休み等のこども教室 ・ ジュニア陸上教室 ・ 工作づくり <p>【放課後子ども教室・土曜学習講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁、将棋 ・ 茶道、華道 ・ 書道、絵画 ・ 民踊、ダンス ・ お菓子づくり 	<p>【公民館講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館で遊ぼう <p>【高齢者教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きがいつくり ・ いきいき健康体操 ・ 相続と遺言の講座  <p>【市民講座UNZEN 男性料理教室】</p>
達 成 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民のニーズに即した多くの講座を開催し、参加者の増加を図る。 <p>【実績 162回(H26) →目標 180回(H32)】</p> <p>【実績 4,326人(H26)→目標 4,500人(H32)】</p>	

主要施策 4	人権啓発活動の推進	
現状	<p>私たちの周りには、周囲の人たちが気づかず、そして加害者も被害者自身も意識していないうちに、深刻化していくハラスメント（いじめ・嫌がらせ）があります。また、障害や性、身分、人種などに対する様々な偏見など、私たちの周りには多くの人権問題があります。</p> <p>本市では、広報誌や公民館だよりによる周知のほか、講演会や映画の上映会を開催し人権の啓発に努めています。</p>	
今後の方向性 課題・	<p>多くのハラスメントでは、被害の状況がかなり深刻になるまで発見されず、改善に困難を要することが多く見られます。</p> <p>誰もが人権の尊さや重要さは認識していますが、それぞれの人権意識を高めることは容易ではありません。学校や地域・職場等において、人権啓発・教育活動を継続的に展開し、いじめや差別のない社会の実現が望まれます。</p>	
今後の主な取組	<p>【人権意識の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種大会やイベント等の際に、県で毎年新しく揃えている視聴覚教材を有効活用した上映会を開催することで、人権に関して考える機会を増やし、より多くの市民に対し人権意識の高揚・推進を図ります。 多くの人が関心を持てるよう、著名人が出演する人権に関する映画を選定・上映し、またテーマを絞った講演会を開催することにより、多くの市民に人権意識の周知を図り、人権教育を推進します。 	
資料等	<p>【周知広報の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種行事時の人権映画の映写会 人権教育講演会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="363 1355 805 1684">  <p>【人権教育講演会(一般向け)】</p> </div> <div data-bbox="935 1355 1366 1671">  <p>【人権教育講演会(学校向け)】</p> </div> </div>	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が集まる各種の大会やイベント等の開催時に、人権映画の上映、チラシの配布等を行い、多くの人に人権について考える機会を設ける。 	